

令和6年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和6年9月20日（金）15:30～17:30

場 所：国際医療福祉専門学校七尾校 2階会議室

委員名：	谷一 勝信	（七尾市役所 健康福祉部 部長）
	津田 博美	（社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長）
	中村 幹泰	（在学生保護者・後援会 会長）
	沖崎 琴	（特別養護老人ホーム あかかみ 理学卒業生）
	岩島 誠	（公立能登総合病院 理学卒業生）
	沖崎 孝裕	（市立輪島病院 作学卒業生）
	皆川 直樹	（津幡町消防署 救命卒業生）
	村田 敏子	（自立ホームけいじゅ 介護卒業生）
	花田 邦和	（国際医療福祉専門学校七尾校 学校長）
	由久保 弘明	（国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科）
	石毛 巖	（国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科）
	玉村 豊和	（国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科）
	花田 真維子	（国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科）

議事次第

1. 開会の挨拶
2. 令和6年度学年歴 資料①
3. 在学生状況と卒業生進路状況 資料②-1, 2
4. 各学科の取り組み活動・成果報告 資料③
 - 1) 理学療法学科
 - 2) 救急救命学科
 - 3) 介護福祉学科
5. 学校としての取り組み活動・成果報告 資料④
 - 1) 学生募集
 - 2) 地域貢献
6. 自己点検・評価書の総評
7. 質疑応答
8. 閉会の挨拶

以上

Ⅲ. 2024年度 学年歴

	日	月	火	水	木	金	土	1年次	2年次	3年次	
4月		1	2	3	4	5	6		前期始業式・新学期オリエンテーション3/31AM		
								入学式・後援会総会4/2	春休み明け実力試験 新2年生3/31PM		
	7	8	9	10	11	12	13	新入生・保護者オリエンテーション4/2 1年生オリエンテーション4/3-9		国試・臨床実習対策セミナー(理3)	
	14	15	16	17	18	19	20	防災訓練			
	21	22	23	24	25	26	27			総合臨床実習(理3)Ⅰ期4/8-5/31	
	28	29	30	1	2	3	4	1年生交流会 4月下旬			
	5月	5	6	7	8	9	10	11	昭和の日4/29 憲法記念日5/3 みどりの日5/4 こどもの日振替日5/6		
								健康診断4/30～5/2			
12		13	14	15	16	17	18	1年生保護者懇談会5/11AM		臨床体験実習(救3)5/8-5/28 総合臨床実習Ⅱ期(理3)5/7-6/28	
19		20	21	22	23	24	25				
26		27	28	29	30	31	1	障がい者スポーツ大会5/26			
2		3	4	5	6	7	8				
6月		9	10	11	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22				
	23	24	25	26	27	28	29			総合臨床実習Ⅲ期(理3)6/7-8/9	
	30	1	2	3	4	5	6				
7月	7	8	9	10	11	12	13			健康診断7月中(理3:5月実習組)	
	14	15	16	17	18	19	20				
	21	22	23	24	25	26	27	海の日7/15			
	28	29	30	31	1	2	3	解剖実習【東京都】(救1)7/26			
8月	4	5	6	7	8	9	10	1～2年次前期定期試験期間7/16-26 1～2年次前期再試験期間7/29-8/1			
	11	12	13	14	15	16	17	前期末大掃除・前期終業式8/2AM 夏季休業8/5-30			
	18	19	20	21	22	23	24	山の日振替日8/12			
	25	26	27	28	29	30	31	前期成績表発送8月中旬 学びフェスタ(救1,2)8/25 後期始業式 8/26(PT) 9/2(EMT)		総合臨床実習Ⅳ期(理3)8/5-9/27	
	9月	1	2	3	4	5	6	7	1～2年次夏休み明け実力試験9/2PM		総合臨床実習Ⅴ期(理3)8/26-10/18
		8	9	10	11	12	13	14	県リハ施設見学(理1)9月	救急車同乗体験実習(救2) 臨床見学実習(救2) 9月中	
								救急の日・秋季訓練			
15		16	17	18	19	20	21	敬老の日9/16 秋分の日振替日9/23			
22		23	24	25	26	27	28				
色付 日付		土曜・日曜・休日・代休・休業期間を示す。									

	日	月	火	水	木	金	土	1年次	2年次	3年次	
10月	29	30	1	2	3	4	5	健康福祉まつり10月上旬			
	6	7	8	9	10	11	12				
								スポーツの日10/14			
								学校祭準備10/18PM 学校祭【小丸山祭】10/20 小丸山祭代休10/21			
	20	21	22	23	24	25	26				
11月	27	28	29	30	31	1	2	文化の日振替日11/4			
	3	4	5	6	7	8	9				
	10	11	12	13	14	15	16	臨床実習指導者会議(理1.2.3)11/15			
							三者面談(救2)11月中		救急技術発表会(救3)11～12月中		
	17	18	19	20	21	22	23	勤労感謝の日11/23			
								インフルエンザ予防接種11～12月中			
12月	24	25	26	27	28	29	30	西日本救急救命学生選手権見学 (救1)12月上旬	西日本救急救命学生選手権参加 (救2)12月上旬	国試願書作成(理3)11/29	
	1	2	3	4	5	6	7				
							救急車同乗見学実習(救1)		2年次後期定期試験期間12/2-6	国試願書作成(救3)12月末	
	8	9	10	11	12	13	14			2年次後期再試験期間12/9-13	
								年末大掃除・冬季休業前オリエンテーション12/13AM			
	15	16	17	18	19	20	21	冬季休業12/16-1/3			
22	23	24	25	26	27	28					
1月	29	30	31	1	2	3	4	冬季休業明けオリエンテーション・授業開始1/6			
							2年次学年末実力試験(理2)1/6PM				
	5	6	7	8	9	10	11	成人の日1/13			
	12	13	14	15	16	17	18	1年次後期定期試験期間1/7-17	臨床評価実習対策セミナー(理2)1/6-17	校外模試(理3・救3)1・2月中	
	19	20	21	22	23	24	25	1年次後期再試験期間1/20-24			
	26	27	28	29	30	31	1	1年次学年末実力試験(理1)1/22AM	臨床評価実習(理2)1/20-2/14		
						臨床見学実習対策セミナー(理1) 1/27-2/21					
2月	2	3	4	5	6	7	8				
	9	10	11	12	13	14	15	建国記念の日2/11			
									国家試験(理3)2月下旬		
	16	17	18	19	20	21	22	天皇誕生日振替日2/24			
	23	24	25	26	27	28	1	臨床見学実習(理1)2/25-3/3			
								後期終業式3/7予定 第16回卒業式3/12予定			
3月	2	3	4	5	6	7	8	臨地実習【能登和倉万葉の里マラソン救護自転車隊】(救1,2)3/10		国家試験(救3)3月上旬	
								後期成績表発送3月上旬 春季休業3/10-28 後期成績表発送3月上旬			
	9	10	11	12	13	14	15			特論Ⅰ(理2)2/26-3/26	
	16	17	18	19	20	21	22				
								春分の日3/20			
	23	24	25	26	27	28	29			国家試験合格発表(理3・救3) 3月下旬	
色付 日付	30	31						次年度始業式・新学期オリエンテーション3/31AM 春休み明け実力試験 新2年生3/31PM			

2. 在学生状況

資料②-1

2024/8/16 時点

実員数と充足率（転科生・留年生・訓練生を含む *休学生は除く）

	定員	1年		2年		3年		小計		総定員	充足率		
		4月	8月	4月	8月	4月	8月	4月	8月		4月	8月	
EMT学科	35	6	6	9	9	13	13	28	0	28	105	26.7%	26.7%
PT学科	35	16	-2	14	21	21	19	56	-2	54	105	53.3%	51.4%
小計	70	22	-2	20	30	0	30	32	0	32	84	-2	82

総数

4月	8月	4月	8月
84	-2	82	210

リタイヤ率 2.4%

寮定員数と稼働率

寮名	定員数		現利用者数		
			4月	8月	
小丸山寮	30	名	16	-1	15名
後畠寮	12	名	11	-1	10名
		名			名
全定員数	42	名	27	-2	25名

15室(1階7室、2階8室) 全室:2人部屋

12室(個室:男性12名)

全54室

4月

8月

64.3%

59.5%

稼働率

増減

4月

8月

全生徒数に占める寮生の割合

32.1%

30.5%

令和5年度 卒業生就職状況

理学療法学科 * 七尾市内への就職者数 2 名

	出身地	就職先	就職先地域
1	富山県	羽咋病院	石川県
2	富山県	とらたに整形外科クリニック	石川県
3	富山県	エルダーヴィラ氷見	富山県
4	石川県	珠洲市民病院	石川県
5	富山県	特養あかかみ	石川県
6	富山県	能登総合病院	<u>七尾市</u>
7	石川県	城北病院	石川県
8	富山県	厚生連高岡病院	富山県
9	石川県	IMS グループ	埼玉県
10	石川県	能登総合病院	<u>七尾市</u>

介護福祉学科 * 七尾市内への就職者数 0 名

	出身地	就職先	就職先地域
1	富山県	橋下条テラス居宅介護支援事業所	富山県
2	石川県	未就職	石川県
3	石川県	介護老人保健施設あゆみの里	石川県
4	石川県	ぐるーぷほーむ福の神	石川県
5	石川県	社会福祉法人つばさの会	石川県

救急救命学科 * 七尾市内への就職者数 2 名

	出身地	就職先	就職先地域
1	<u>岐阜県</u>	松波総合病院	岐阜県
2	石川県	奥能登広域圏消防本部 穴水消防	石川県
3	石川県	加賀消防	石川県
4	石川県	恵寿病院	<u>七尾市</u>
5	<u>福井県</u>	<u>柁吉村</u>	<u>福井県</u>
6	石川県	西東京中央総合病院	東京都
7	富山県	横浜消防局	神奈川県
8	<u>石川県</u>	<u>富山西総合病院</u>	<u>富山県</u>
9	富山県	富山西総合病院	富山県
10	福井県	金沢消防	石川県
11	富山県	砺波消防	富山県
12	富山県	恵寿病院	<u>七尾市</u>
13	岐阜県	高山消防(岐阜県)	岐阜県
14	<u>石川県</u>	かほく市消防本部	石川県
15	石川県	かほく市消防本部	石川県
16	石川県	能見消防	石川県

1. 開会の挨拶
2. 令和6年度学年歴について資料①をもとに説明を行った。
3. 在学生状況と卒業生進路状況について資料②をもとに説明を行った。

【意見・質問】 特段無し。

4. 各学科の取り組み活動・成果報告

資料③

【理学療法学科】

(1) 学生状況

	令和4年度入学生 現3年生（16期生）	令和5年度入学生 現2年生（17期生）	令和6年度入学生 現1年生（18期生）
入学者数（充足率）	22名（62.8%）	23名（65.7%）	16名（45.7%）
在籍者数	20名 ^{*1}	20名	14名
留年者数	0名	0名	0名
休学者数	0名	0名	0名
退学者数	3名	3名	2名

^{*1}：15期生の留年生1名を含む

- ・入学前課題として、一般漢字や医学漢字、数基礎、解剖学入門（自己学習用）などを取り入れて実施している。それらの内容の確認を1年次の早期に試験形式で実施し、到達レベルに満たない学生に対しては個別指導等を行い、基礎学力レベルの底上げを行っている。その他、計画的に物事を進める能力が乏しい学生が多く、先を見据えて行動できるようスケジュール管理の指導も積極的に取入れて行っている。

(2) 取り組み状況・成果

1) 昨年度の取り組み

- ・石川県リハビリテーションセンター1日体験・講義（1年生）
- ・オープンキャンパスの学生スタッフとして参加（2年生）
- ・パーキンソン病友の会の方を招いての模擬臨床実習体験（2年生）
- ・校内デイサービス利用者の方を招いての模擬臨床実習体験（2年生）
- ・校内デイサービスにおける学生スタッフとして参加（1年、2年生）
- ・福祉住環境コーディネーター2級の取得を目指す（2年生全員）
- ・感染予防対策として3年次の国家試験日の2週間前からクラス単位での対面講義は行わず、オンライン形式で集中講義を行った。

2) 令和5年度卒業生の国家試験結果

	令和3年度卒業生 13期生	令和4年度卒業生 14期生	令和5年度卒業生 15期生
--	------------------	------------------	------------------

本校（現役）	16／17 名 (94.1%)	12／13 名 (92.3%)	10／12 名 (83.3%)
全国（現役）	88.1%	94.9%	95.2%

(3) 課題と今後の取り組み

1) 問題（自己）解決能力の高い人材の育成

- ・問題解決能力の養うため、学生主体のプレゼンテーションを中心とした講義を積極的に取り入れていく。
- ・ホワイトボードに書き込むことを主体とした OUTPUT の形式を取り入れ、学生が習得した内容をイメージ化する。

2) 人間性豊かな人材の育成

- ・地域施設の行事等に学生ボランティアとして積極的に参加し、主体性・社会性などの心を育む。
- ・学内外における挨拶はもちろんのこと、思いやり・気配りができる行動が自然にできるよう日々の学校生活の中で意識を高める指導を行う。

【意見・質問】

- ・不合格者に対してのフォローについての質問を頂き、科目等履修生として対応していると説明を行った。
- ・引き続き、人間性豊かな人材の育成に努めてほしいとの意見を頂いた。

【救急救命学科】

(1) 学生状況

	令和4年度入学生 現3年生（16期生）	令和5年度入学生 現2年生（17期生）	令和6年度入学生 現1年生（18期生）
入学者数（充足率）	15名（42.8%）	9名（25.7%）	6名（17.1%）
在籍者数	13名 ^{*1}	9名	6名
留年者数	0名	0名	0名
休学者数	0名	0名	0名
退学者数	3名	0名	0名

^{*1}：15期生の留年生1名を含む

- 1) 本学科は救急救命士を養成する学科であり、入学する生徒のほとんどは消防もしくは病院への就職を希望している。職域拡大が始まったことにより、病院就職だけではなく他職種を希望する生徒も増加傾向にある。
- 2) 新入生の中には、自身の進路に対して目標が明確な生徒もいる一方、漠然とした生徒も見受けられる。また、取得した資格が担う重要な役割の認識が足りていない学生も見受けられる。3 年後の国家試験受験に向け、授業と自己学習の取り組み方について指導している。

(2) 取り組み状況・成果

1) 社会人としての意識付け

消防や医療機関に就職する以前に、一社会人として、髪型や身だしなみ、挨拶、清掃整備の重要性について根強く指導した。また短い時間であっても、毎日継続することの大事さを伝える。

2) 救急救命士としての意識付け

医療従事者としての意識付けを行うために、能登総合病院主催の症例検討会等の参加、今後は恵寿総合病院主催の症例検討会にも参加予定。今後は各種学会やシンポジウムへの参加も検討する。

2 学年を対象として 7 月 26 日に東京歯科大学における御献体による解剖見学実習を実施。

後期では、各学年で消防署、病院への実習、また、教育学的な教育と実際の現場の活動の違いなど理解を深めさせる予定である。

3) 医療従事者との交流、他の学校の学生との交流

毎年行われている学生選手権（西日本大会）へも出場することを予定しており、それに向けて授業の時間以外でも訓練をしている。

能登地震を機に、国土舘大学の学生と共に七尾市内でのボランティア活動を継続している。

4) 地域の社会貢献

令和 7 年 3 月万葉マラソン大会の救護スタッフとして、参加予定である。

また地震の影響で祭礼の担い手不足地域の祭りへ参加した。

5) 令和 4 年度卒業生の国家試験結果、就職率・消防就職率

①国家試験結果

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
本校 (現役)	6 / 8 名 (75.0%)	13 / 13 名 (100.0%)	16 / 16 名 (100.0%)
全国	95.0%	93.8%	94.2%

(現役)			
------	--	--	--

②就職率・消防就職率

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
就職率	7 / 8 名 (87.5%)	11 / 13 名 (84.6%)	16 / 16 名 (100%)
消防就職率	6 / 7 名 (85.7%)	7 / 9 名 (77.8%)	9 / 16 名 (56.2%)

(3) 課題と今後の取り組み

1) 3年連続国家試験合格率 100%

3 年生は標準テキストでの勉強は当然の事であるが、過去問、模擬試験等を使っての問題演習を行う。また、国家試験で重要な C・D 問題の対策として症例の作成や実技（シミュレーション）訓練を通して知識を定着させていく。また、2 年生から国家試験対策を開始している。

2) 就職率 100% !

昨今、救急救命士の職域は拡がりをみせており、消防や医療機関への就職だけでなく、その他の職種を希望する学生が増えている。そこで、学生が希望する就職先の情報を提供し、消防を目指す学生は今まで通りに公務員試験対策を、医療機関を目指す学生には専門知識の習得及び面接練習をサポートしていく、就職率 100%を目指す。

【意見・質問】

- ・就職先が消防以外の病院関連が増えていることについて知れて良かった。
- ・合格率および就職率が高いことをもっと全面的にアピールした方が良いとの意見を頂いた。
- ・今後、幅広い分野での活動が期待できる職種であると思うので、小中学生も視野に入れた広報活動を積極的に行う必要があるとの意見を頂いた。

【介護福祉学科】

＊令和 4 年度より募集停止となり令和 5 年度（第 11 期生）の卒業生が最後

(1) 第 11 期卒業生の国家試験結果と就職状況

	令和 5 年度卒業生（11 期生）
本校(現役)	4/名（100%）

全国(現役)	82.8%
--------	-------

- ・ 国家試験結果について、国家試験の受験者は 4 名で全員合格。
- ・ 就職状況について、卒業生 5 名中 3 名が県内に就職。

【意見・質問】

- ・ 日本社会において必要な分野であるのですが、成り手不足および少子化等の影響には勝てなかったことが残念に思うとの意見を頂いた。

5. 学校としての取り組み結果報告

資料④

(1) 学生募集

1) スクールバスと学生寮

富山方面の高校に対しスクールバスと学生寮の案内を行ってきた。氷見・高岡方面の高校では少しずつではあるが、スクールバスの運行についての知名度は進路指導部中心に上がってきていると感じる。併せて学生寮の案内も行い、今年度からは学生寮費が食費込みの金額を提示 (50,000～60,000 円) することで、遠方からの進学者に対してもコストを抑えられることが分かりやすくなり、PR もしやすくなった。

令和 6 年 1 月の震災の影響で、寮も被災し現在利用できる 6 寮のうち小丸山寮と後畠寮の 2 寮のみである。なお、小丸山寮については水道の配管も被災しており、水道が使えない状態である。よって、小丸山寮生は学校内に設置した仮設シャワーを利用している。水道の修理の見込みは現在未定である。

2) 募集メディアと募集方法

①オンラインオープンキャンパスの実施

オンラインオープンキャンパス、個別相談会ともに今年度は数名の参加がみられている。今年度はより北陸三県外の遠方にも高校訪問を行ったなかで、オープンキャンパスを併せて広報していくことは重要なツールになると考える。また、youtube での動画配信によるオンラインオープンキャンパスも引き続き行っており、SNS (Facebook、Instagram) の更新とともに、動画の作成により一層力を入れていくことで高校生や保護者の目に留まるように努めていく。

②募集メディアの企画 導入、実施、結果などについて

リクルート社との契約を継続し、「スタディサプリ for marketing」によるデータ統括と分析、「スタディサプリ進路」「スタディサプリ OC カメラ」による広告宣伝を行っている。今年度より株式会社マイナビ社、ライセンスアカデミー社とも契約しており Web 上での広告宣伝の露出を拡大している。6 月に夏のオープンキャンパス向け DM は

がきを、高校入学から今年度6月までに資料請求のあった高校生3年生に向けて発送した（約300通）。夏以降に出願のお知らせや、1.2年生対象に送るかどうか検討する。

③資料請求

資料請求数は昨年度合計500件に対し、今年度は8月までで536件、リクルート社単独では403件であり、マイナビ社とライセンスアカデミー社との契約は一定の効果が見られると考える。しかしながら来校者（オンライン含む）の人数も昨年度合計56名に対し、今年度8月までに36名であり、昨年同時期が43名であったことから、去年度よりも減少となっている。来校者数と出願者数は相関が高いため、より強く着実な広報活動が必要であると考ええる。

④高校ガイダンス

今年度は、ガイダンス業者さんぼうとの継続契約に加え、前項でも触れたがライセンスアカデミー社とも契約を行った。結果、前年度よりも多くの高校ガイダンスに参加することができている。しかしながらオープンキャンパス参加者数につながった人数が少なく、回数・時期・内容を精査していきより確実に効果を上げることができるようにしていく必要がある。

今年度は、進路指導講座や面接指導の講師依頼もライセンスアカデミー経由で4校ほど来ており、このような活動も含めて高校性に直接触れる機会や高校とのつながりを増やしていくことができると考える。

⑤高校訪問

去年度は北陸三県、岐阜（飛騨地区）・滋賀県（湖北地区）の高校訪問を実施したが、今年はそれに加え、岐阜県全域、滋賀県全域、長野県（南信地区以外）の高校も訪問した。北陸三県以外での高校の反応は様々であったが、いくつかの学校は興味を示していただき、今年は岐阜の参加実績のない高校からのオープンキャンパス参加者が見られた。どの県も、理学療法士の養成校なら県内や関西圏が第一志望になるとのことであったが、救急救命については、資格制度自体の認知度が低く可能性を感じた。今後も定期的に訪問していくことが重要であると考ええる。またほとんどの高校において当校は認知されておらず、まずは教職員への周知から行っていく必要があると感じた。

前述したオンラインオープンキャンパスと学生寮の案内に加え、県外からのオープンキャンパス参加者の宿泊費補助（上限5,000円）の案内を新たに販促物として作成し、遠方から足を運びやすくなるような施策を行っている。

【意見・質問】

- ・対面式の高校ガイダンスを多く取り入れたことは良いことであると思うため、今後も継続していくことが重要との意見を頂いた。
- ・県内外への広報活動の実際を知れてよかった。高校生の認知度をいかに上げるかが課題であると思う。
- ・SNS 戦略をもっと駆使して広報活動を行い、入学者数の増加につなげてほしい。
- ・氷見、富山便のスクールバス運行の取り組みは費用対効果があると思うので、今後も継続した方が良いとの意見を頂いた。
- ・震災による学生寮の利用が一部困難になったことはマイナスであるが、修繕等をして、寮利用ができることをアピールした広報活動につなげて欲しいとの意見を頂いた。

(2) 地域貢献

1) 学内デイサービス『みんなの教室』の実施状況について

七尾市総合事業における基準緩和型運動型のデイサービス

*2017 年開設 毎週火曜午前（風呂・食事は無し） 今年 8 年目

定員の 10 名であるが、震災の影響により今年度はまだ行っていない。秋以降再開を目指している。

学生スタッフが常時 4～6 人程度入り、利用者に係ることで障害像の把握や接遇についてなど学んでいる。入学者から「みんなの教室」があると聞いたから入学した、との声も聞かれるため、七尾校の大きな特色と強みになってきている。

2) 地域交流

震災直後は学校周辺の避難所等を訪問し、健康指導や物資の提供などを行ってきた。また、校内の仮設シャワー等も開放し地域の方々に利用していただいた。さらに、教室の一部をサロンとして開放し憩いの場として提供、体育館では知的障害児の放課後等デイサービスが、運動する場として利用したいとのことであったので、こちらも開放し学生を交えた運動会などを行った。

今年度も石川県障害者スポーツ大会のサポートスタッフとして 1 年生が参加した。例年通り非常に高い評価をいただいております、多くのボランティア要請の依頼が来ているので、できるだけ学生の動員を可能な限り行っていきたい。

また、震災後の復興ボランティア等も積極的に参加していき、地域貢献に繋がってきたい。

【意見・質問】

- ・他校では行っていない、パラスポーツへの教育をもっとアピールした方が良いと

思う。

- ・地域交流の施設ボランティアの参加がもっと増えることを願っています。

6. 自己点検・評価書の総評

特段意見・質問なし

以上